

公益社団法人 私立大学情報教育協会

2021 年度第 2 回

経営学・経済学・会計学・心理学・被服学・物理学・化学・機械工学・建築学・経営工学・
数学・電気通信工学・土木工学・生物学・美術デザイングループ
分野連携合同会議議事概要

- I. 日時 : 令和 3 年 10 月 8 日 (金) 17:30~19:30
II. 場所 : ZOOM 会議室
III. 出席者

(経営学)伊藤委員・奥村委員、(経済学)児島委員長・渡邊委員・中嶋委員・山崎委員・林アドバイザー、
(会計学)岸田委員長・松本委員・阿部委員・河崎委員・金川委員・福浦委員・木本委員、(心理学)木村裕委
員長・片受委員・木村敦委員、(被服学)阿部委員長・石垣委員・石原委員・潮田委員、(物理学)寺田委員長・
穴田委員・満田委員、(化学)小林委員長・幅田委員・庄野委員、(機械工学)角田委員長兼総括委員長・田
辺委員・青木委員・高野委員、(建築学)柳沢委員・澤田委員、(経営工学)井上委員長・玉木委員、(数学分
野)井川委員・山崎委員・西委員、(電気通信学分野)鈴木委員・高原委員、(土木工学分野)栗原委員・窪田
委員、(生物学分野)佐野委員・西村委員、(美術・デザイン分野)宮田委員・井澤委員、(情報専門教育分
科会)大原アドバイザー、(データサイエンス教育分科会)渡辺アドバイザー
事務局：井端事務局長、坂下、中村

IV. 議事の経過

角田委員長(機械工学分野)の議事進行により、分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の具体的な開催内
容について 検討を行った。話題提供者と内容についての確認、意見交流のテーマ・内容の検討と確認および、
事前アンケートの内容と対話集会の具体的な進め方について検討を行い、以下のとおり決定した。

1. 開催要項の検討および決定

(1) 話題提供内容と提供者

① 会計学分野

話題提供者：名古屋学院大学名誉教授 岸田 賢次 氏

タイトル：「遠隔で現場情報を集め、会計的視点から課題発見・解決策を考察する PBL モデルの提案」

内容： 正解がないことを周知した上で、事前に企業等活動状況の映像を閲覧させる。その上で遠隔でグル
ープごとに問題の認識、課題の発見と設定、合理的な解決策を議論させ、その結果を掲示板に発表さ
せてグループ間で評価し、振り返りを行う PBL モデルの提案を紹介する。

② 経営工学分野

話題提供者：千葉工業大学システム科学部准教授 田隈 広紀 氏

タイトル：「対面と遠隔でグループワークの質向上を実現した PBL 授業の取組み」

内容： プロジェクトマネジメントの授業で知識の獲得は遠隔、企画・立案の実践は対面を中心としたグル
ープワークとしているが、対面は緊張感などの連続で疲れやすいとの声があり、キックオフ、成果発
表以外は、双方向のビデオ会議が効果的であることの事例について報告する。

③ 建築学分野

話題提供者：摂南大学理工学部長 柳沢 学 氏

タイトル：「ICT を活用した反転授業のオンライン化に伴う運営・評価・課題の取組み」

内容： 建築材料、鉄筋コンクリート構造授業の反転授業について、オンラインでグループワークの議論・
発表を行い、グループ及び全体での意見発表も対面と遜色なく実施した。期末試験を視聴動画のノー
ト作成に代替した授業の運営方法、学修成果の評価方法および課題について報告する。

④ 機械工学分野

話題提供者：金沢工業大学准教授 藤本 雅則 氏

タイトル：「PBL 授業におけるハイブリッド型授業の実践の取組み」

内容： チームで課題に取り組む「プロジェクトデザイン入門」の PBL 型授業をハイブリッド型で運営した。

実験の様子をビデオで見せた上で、更にリアルタイムで模擬実験を行い、理解を深めている遠隔PBL型授業の工夫と課題について報告する。

⑤ 土木工学分野

話題提供者：東京都市大学建築都市デザイン学部准教授 五艘 隆志 氏

タイトル：『「持続可能な社会づくりに参画するための実践力(SD)」育成に重点を置いた全学PBLのねらいと、遠隔による授業方法の取組み』

内容：東京都市大学で2020年度から1年次から3年次に実施しているSD PBL全学導入の経緯と、構造的専門知識を持たない1年次の学生に、橋梁形状の議論をさせるため、遠隔でグループワークさせるための工夫により得られた教育効果や課題を報告する。

(2) 意見交流のテーマ内容の確認および決定

意見交流のテーマについては、前回の会議を踏まえ以下の4点とすることを確認した。

- ① 学修者本位の教育への転換、遠隔と対面を効果的に組み合わせたPBLの工夫と課題及び戦略
- ② ネット上で多分野の知識を組み合わせ、知の創造を訓練する実験授業モデルの可能性
- ③ 対面と遠隔を組み合わせたプラットフォーム作りと課題の整理
- ④ ビデオ試問による思考力等の点検・評価・助言モデル構想の具体的なイメージ確認と課題

2. 事前アンケートの内容検討および決定

意見交流の運営に役立てるため、申込者には以下の項目について任意のアンケートを求めることを確認した。

- ・学修者の学びの個別最適化に向けて配慮している取組みについて
- ・遠隔授業の状況と学修評価の方法、不正防止対策、学生側の課題について
- ・問題発見・課題解決型教育(PBL)の導入理由について
- ・「対面と遠隔を効果的に組み合わせるPBL」の工夫と課題について
- ・「対面と遠隔を組み合わせた授業全体の学修プラットフォーム」に求められる機能について

3. 開催日時と会場

開催日時：令和3年12月25日(土) 13:00~17:00

オンライン会場：私学会館(アルカディア市ヶ谷)よりZOOM配信

4. 運営シナリオの検討と役割分担

対話集会における進行役委員を各分野から選出し、当日に事前打合せを行うこと、次回は対話集会とすることを確認した。